

アグリいな 第53号

平成28年度の主な実施事業

○町民農園

町民農園の利用者を募集します。

詳細は次回3月号のアグリいなでご案内します。

○野菜づくり講習会

28年度も開催します。

募集要領は4月号をお待ちください。

○アグリ加工教室

28年度は青豆による豆腐作りを行います。

その他、現在検討中です。

○農作物の試験、調査

28年度は以下の試験を実施する予定です。

- ・水稲とハクサイに対する優良堆肥の施肥試験
- ・水稲の疎植栽培試験
- ・水稲の育苗箱全量施肥栽培
- ・カラーの低コスト栽培

○エゴマ油の商品化の検討

- ・エゴマ栽培の実証
- ・エゴマ油の試作

○小学生の農業体験

- ・田植え・稲刈りの体験学習

○農業経営改善支援

- ・認定農業者・新規就農者支援
- ・アグリ・よろず相談 など

○食品等の放射性物質スクリーニング検査

- ・自家消費作物（家庭菜園）・山菜・キノコの検査
- ・井戸水・湧水等の飲料水の検査
- ・自家消費作物を栽培する土壌の検査



水稻の疎植栽培



「アグリいな」では県農業総合センター会津地域研究所と共同で、「ひとめぼれ」を使った水稻の疎植栽培試験を実施しています。今年は、疎植栽培を坪あたり50株植え（疎植①）と37株植え（疎植②）（写真1）の2区設定し、坪あたり70株植えの慣行区と比較する試験を実施しました（表1）。

結果の概要は以下の通りです。

- (1) 10a に使用した育苗箱数は、慣行の25.0箱に対して、疎植①では17.8箱、疎植②では13.2箱と少なくてすみました（表1）。
- (2) 穂数は、疎植栽培で減少しました（表2）。
- (3) 一穂粒数は、疎植栽培で増加する傾向が認められました（表2）。
- (4) 登熟歩合と千粒重に大きな違いは認められませんでした（表2）。
- (5) 精玄米重は、疎植栽培で15kg/10a程度減収しました（表2）。
- (6) コスト計算をすると、米減収によるマイナスが疎植①では-2,167円/10a、疎植②では-2,667円/10a、育苗箱数の減少によるプラスが疎植①では+5,040/10a、疎植②では+8,260円/10aとなり、収量減によるマイナスを育苗箱数の減少で十分にカバーできると考えられます。
（米1俵(60kg)10,000円、水稻苗1箱700円で計算）

表1 試験区の構成と処理内容

試験区	栽植密度		使用箱数 (箱/10a)	基肥(kg/10a)			追肥(kg/10a)	
	株間(cm)	株/坪		窒素	リン酸	カリ	窒素	カリ
慣行	16	70	25.0	6	8	10	2	2
疎植①	22	50	17.8	6	8	10	2	2
疎植②	30	37	13.2	6	8	10	2	2

基肥は高度化成（15-20-15）と塩化カリ、追肥はNK化成使用。

表2 収量構成要素と収量

試験区	穂数 (本/m ²)	一穂	登熟	千粒重 (g)	わら重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)
		粒数 (粒)	歩合 (%)			
慣行	582	65.8	73.2	23.8	862	651
疎植①	557	68.1	72.2	23.5	851	638
疎植②	509	71.4	73.8	23.3	800	635

水稻の育苗箱全量施肥栽培



今年も育苗箱内に水稻（ひとめぼれ）の生育に必要な窒素肥料の全量を施肥する育苗箱全量施肥栽培（以下、苗箱施肥）を実施しました（写真）。苗箱施肥に使用した肥料の種類は、①苗箱まかせの60日、②100日、③ブレンドの3タイプです。移植は、5月21日に坪あたり70株植えて行いました。結果の概要は以下の通りです。



白い粒が肥料（苗箱まかせ）

- （1）穂数は、慣行＞苗箱施肥①＞苗箱施肥③＞苗箱施肥②の順となり、苗箱施肥の中では肥効が速いほど穂数が多くなりました（表2）。
- （2）精玄米重は、苗箱施肥①＞苗箱施肥③＞苗箱施肥②≒慣行の順となり、苗箱施肥の肥効が速い順に高収量となりました（表2）。
- （3）以上の結果から、猪苗代町のひとめぼれに対しては肥効の速い苗箱まかせの60日タイプが適すると考えられます。この結論は、昨年と同じです。

表1 試験区の構成と施肥

試験区	窒素肥料の種類	基肥(kg/10a)			追肥(kg/10a)	
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	K ₂ O
慣行	ひとめぼれ専用	6.0	8.0	10.0	2	2
苗箱①	N400- <u>60</u>	6.0	3.2	5.0	0	0
苗箱②	N400- <u>100</u>	6.0	3.2	5.0	0	0
苗箱③	N400- <u>B30</u>	6.0	3.2	5.0	0	0

苗箱区は、苗箱まかせを使用。

アンダーラインの60と100は、窒素が溶出する速さ（日数）を示す。

B30は、N400-60が30%、N400-100が70%ブレンドされていることを示す。

慣行区に塩化カリ7kg/10a、苗箱区にケイリンバリュー40kg/10a施用。

表2 収量構成要素と収量

試験区	窒素肥料の種類	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	精玄米重 (kg/10a)
慣行	会津工コ米専用	582	65.8	73.2	23.8	651
苗箱①	N400-60	549	70.1	87.6	23.4	763
苗箱②	N400-100	467	68.7	88.5	23.3	662
苗箱③	N400-B30	539	68.3	87.5	23.4	734

国の補助金を活用しませんか？

農林水産省のホームページで、農林水産業の補助金が利用者別及び利用目的別に検索できます。

補助金等を活用して農業用機械を整備したい方など、ぜひご活用ください。
検索は…農林水産省ホームページの「補助金等の逆引き事典」をご覧くださいか、「農林水産省補助金等の逆引き事典」と検索してください。

米の全量全袋検査で未検査米ありませんか？

平成27年度産の米について、未検査米はありませんか？検査予定日前週火曜日まで書面にて申込みが必要ですので、検査をする場合には協議会事務局（町農林課）にお申込み下さい。

○お問い合わせ先：猪苗代町農業活性化協議会事務局（町農林課）62-2116

「未来の夢たい肥」好評発売中

平成28年4月1日から優良堆肥製造施設で製造している堆肥の販売価格を次のように改定します。

・未来の夢たい肥（バラ）

現行 5,142円/kg → 改訂後 6,873円/kg

・未来の夢たい肥（小袋 10kg）

現行 123円 → 改訂後 157円

（いずれも消費税込みの価格です。）

※未来の夢たい肥のペレット小袋は、当分の間製造を見合わせることにしますのでご了承ください。

○お問い合わせ先：猪苗代町優良堆肥製造施設：0242-85-8810

アグリいな

（猪苗代町地域農業活性化センター）

猪苗代町坂下4527番地

TEL 0242-85-7816

（旧福島県農業試験場冷害試験地）FAX 0242-85-7836

開所日 平日 8:30~17:00

Mail agriina@oregano.ocn.ne.jp